

# みんなの政策集

平成22年4月1日

ひわたし啓祐  
佐賀県武雄市

## みんなの政策集（具約からみんなの政策へ）

こんこんと雪が降りしきる武雄温泉駅に妻と二人で降り立った4年前の12月28日。閉塞感漂う私たちの故郷を何とかしたいとの思いで、この武雄市に退路を絶って帰ってまいりました。

そして、多くの市民の皆さんに温かく迎え入れていただき、当時全国最年少市長の私を応援していただいたことに心から感謝します。

（お約束していたこと）

まず、身に余る期待の中で、取り組んだのは、それまでの市民の皆さんの背中から重い荷を一つ一つ降ろしていくこと。

○ そういう思いで、佐賀県で最も高く、全国でトップクラスの水道料金については、平成20年4月使用分から引き下げを断行し、月20立方メートル使用の標準世帯で年間9,300円（平均13パーセント）の減額となりました。

○ 合併後、不均一課税でありました固定資産税率については、21年度に合併協議会で確認された1.55パーセントに統一しましたが、これもまた佐賀県一高い税率であることから22年度から1.48パーセントに引き下げました。

○ 介護保険料についても、佐賀県内でトップレベルであったため、基準額で約1万円（15.8パーセント）の引き下げを行いました。

これらは、すべて、「具約42」でお約束させていただいた事項であります。

（市民病院問題）

また、市長就任時思いもよらなかった武雄市民病院問題が、着任早々の部長ヒアリングの場で、急浮上しました。未曾有の累積赤字と極度の医師不足、そして、真の意味での救命救急医療が武雄になかったこと、この武雄市民病院の「三重苦」を迅速に解決するために、極めて優れた医療集団である池友会グループへの民間移譲条例案、予算案を議会に提案し、再三にわたり、慎重審議の末、議決いただきました。

もし、市民病院の民間移譲を果たしていなければ、近い将来、武雄市民病院問題とは縁遠い山内町民、北方町民の皆さんにも取り返しがつかない財政的な負担、救命救急医療の不在という重い足枷を担わせていたこととなります。

本年2月1日から、問題を「先送り」せずに、新武雄病院として新たなスタートを切ったのですが、患者様、市民の皆さんの深いご理解とご支援により、順調に歩を進めています。この全国的に注目された市民病院問題もまた将来の市民負担の軽減という位置付けをしております。

(4年間を振り返って)

振り返れば、この4年間は、不景気どころか社会不安一步手前の世相の中で、可能な限り、「市民負担の軽減」を図ることができたものと確信しています。この4年間で議会と密接に連携し、500項目以上にわたる企画・政策・事業を展開してまいりました。

おかげさまで、新武雄病院のスタート、SUMCO独身寮の誘致などを含め、流入人口の増加、若い世代の増加による高齢化率の鈍化、観光客の飛躍的な増加など明るい兆しが見られます。例えば、観光客数は18年度145万人、19年度149万6千人、20年度161万人と増加をしています。これらの動きが、税収増につながり、市民サービスの維持向上に直結します。

最初の4年間は、市民負担の軽減と、「佐賀のがばいばあちゃん」等による全国的な知名度の向上を目指し、私が掲げた「ぬくもりのある元気な武雄市」に皆さんのおかげで一步一步近づいてきています。

この間、「市民福祉の維持向上」を心がけて参りました。市民の皆さんのおかげで、全国で最も注目を集める市の一つと数えられるにいたりました。

(市民のお声に耳を澄ませること)

その一方で、市長就任以来、各町、地区、学校等での「市長と語ろう会」を89回開催し、5,000人近くの皆様方にお越しいただいたこと、また、特にこの1年で、4000世帯の皆さんからいろいろ教えていただいたこと、100回を越す連日連夜のミニ集会、400通に及ぶメールなどで、市民の皆さんの切実な思いに触れることができました。

(これからの4年間で)

これからの4年間。ホップ・ステップ・ジャンプで言えば、ステップの段階です。市民の皆さんの「痛み、悲しみ、苦しみ」を少しでも和らげる政策を進めて参ります。

また、私はいろいろなところに出始めた芽を皆さんと一緒に育てたい、そういう思いで、次の4年の舵取りをさせていただきたいと思っております。

それがこれから掲げる市民対話型の「みんなの政策集」です。ぜひ、ご覧の上、一緒に、できる範囲で、頑張っていきましょう。

**そう！ 前へ！ もっと前進。**

22年4月1日 武雄市長 ひわたし啓祐

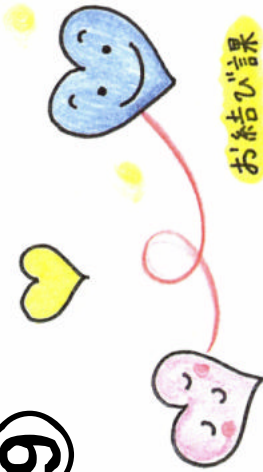
1

みんなのバス

ご希望の地区で8人乗りの  
ミニバンを運行します



9



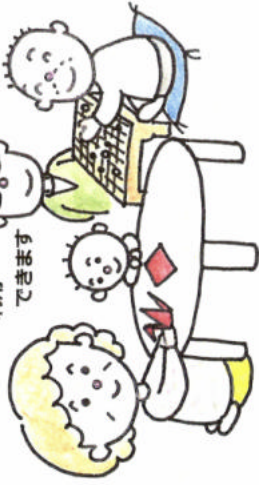
お結び言葉

市内の独身男女の  
間のご縁を  
とりもちます

3

みんなの福祉センター

市民病院の建物や、空庁舎などを活用して  
子どもから、ご高齢の方まで  
利用  
できます



16

今月のテーマ

1. 健康
2. 武蔵の歴史・文化
3. 武蔵焼について...

高齢者大学

市内外の講師を招き  
講義を開きます



これらの政策を実現し  
“ぬくもりのある武蔵市”を  
目指します。

前へ！もつと前進

ひわたし啓祐

17



森林保全隊

荒れ果てた森林や林道を  
官・民協働で再生させます

11

市役所

ママズ・カフェ

子ども大人もくつろげる  
カフェをつくります



20

24時間  
365日 安バの  
救命救急医療を！



学ぶ場

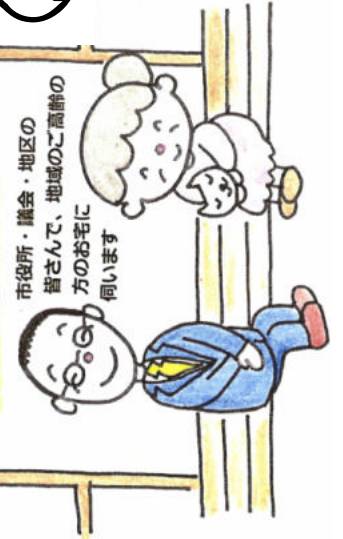
雇用の場もできます



2

みんなの見守り隊

市役所・議会・地区の  
皆さんで、地域のご高齢の  
方のお宅に  
伺います



※丸字はみんなの政策集の番号です。

# みんなの政策集

～市民の皆さんからの生の声をもとにした政策集～

1 もう、車の免許は返還してしまいましたし、この部落はバスも通らないです。しかし、買い物に行きたいし、病院にも行かなくてははいけません。何とかならないでしょうか。【山内町在住 72歳 女性】

このことは、特に周辺部の高齢者の皆さんから切実な声として聞きました。そこで、全国で初めてとなる「みんなのバス」制度を作り、実行します。

具体的には、ご要望のある地区に、ミニバン（8人乗り）をお渡しし、地域の皆さんで、運行先、時刻表などを決めてもらい、上限を決めてガソリン代と運転手役をかっていただく地域の方に手当をお支払いします。

22年度初年度は数箇所のモデルケースを皮切りに、4年間かけて完成させます。実際の運営は、「みんなのバス」運営協議会が行います。

財源は、ミニバンについては、宝くじなどの助成金と市の補助金をもって充て、ガソリン代は市の補助金、運転手手当は、国の緊急雇用助成金等から充てます。

「みんなのバス」。これが2期目のひわたし市政の3大事業の1つになります。

2 2年ほど前に、市長さんと市議さんがひょっこり、私の家まで来てもらいました。私は嬉しくていろんなことを市長さんに語りましたが、家で転んで入院し体がめっきり弱くなり、外に出ることもままならず、主人も他界し、2週間ぶりに人と話をしました。とても嬉しかったです。【西川登町在住 85歳 女性】

今、独居老人世帯が急激に増えています。皆さん、心細く思っておられます。私はそのお声を真摯に受け、「みんなのバス」政策と並ぶ「みんなの見守り隊」事業を行います。

具体的には、現在、民生委員の皆さんを中心に見回り事業を行っていただいておりますが、さらに、市役所、議会、各地区のボランティアの皆さんの力を結集し、定期的に地域をまわり、お声かけを行う事業です。全地区が対象となります。財源は予算を伴わないのでゼロです。

3 3年前に武雄市に引っ越してきました。確かに、子育て、福祉、相談など頑張っておられるなと思いますが、なにせバラバラで困っています。総合的な福祉センターがあればいいのですが。【武雄町在住 60代 女性】

このお話もまたさまざまなところから寄せられました。そこで、今、支所等を活用してさまざまな福祉業務を行っていますが、この機能は低下させずに、市民病院の建物、または支所等で、市民の皆さんのご希望の「今ある施設を活用（転用）」して、武雄市総合福祉センター（みんなの福祉センター）を設置します。

このセンターでは、子育て相談、障がいをお持ちのお子さん・ご家族の交流、福祉相談、三世代交流、食育教育、市民検診、婦人会活動、老人会活動、ボランティア活動、男女共同参画、DV等の相談、読み聞かせ、安全な室内遊具の設置など、赤ちゃんから高齢者の皆さんまで、さまざまな皆さんに喜んで使っていただく機能を有し、また、市民皆さんの交流、各種団体の交流を含む武雄市のみなさんの福祉の拠点にするものにします。

22年度中に武雄市総合福祉センター設立準備委員会を設け、準備委員会のご意見を尊重し、任期中には開設いたします。

これが2期目のひわたし市政の3大事業の1つになります。

4 ひわたし市長が考案した「まちづくり交付金」は良かった。若木町では、町民待望の新オフトークに活用させてもらったが、ぜひ、継続してほしい。【若木町在住 40代 男性】

まちづくり交付金に関しては、まちづくり推進協議会を中心に、住民の皆さんの自由なお考えに基づき、町民花火大会、倉庫の設置、道路の維持補修などに活用され高い評価をいただきました。これを受けて、まちづくりNPOや団体も加え、幅広いまちづくりを応援する「新まちづくり交付金」制度（みんなの交付金制度）を作り、地域住民の皆さんのまちづくりへの応援をいたします。

財源は、旧まちづくり交付金は基金を取り崩して行いましたが、新制度は、毎年発生する前年度からの繰越金（いわゆる余剰金で約3～5億円）の3～5パーセントを原資として交付いたします。

5 新聞にも大きく出た六角川上流の巨大な調整池、国道34号線・35号線、新幹線の工事、工業団地の造成、新武雄病院の建設など、大型の（公共）事業が進むことは、市民生活の向上にとってとても嬉しいが、完成年度や工事の進捗状況などを随時明らかにしてください。【朝日町在住 60代 男性】

そのとおりですね。これだけの大型事業が進むことから、まず、市役所内に事業の遂行責任、事業の説明責任を果たすポジションを創設します。また、市長と語る会などを引き続き、積極的に開催し、市長としての説明責任を果たし、市民の皆さんのご要望に耳を傾けるようにします。

6 イノシシの農地被害で困っています。このままでは、農業を続けることができません。何とかしてください。【橘町在住 40代 男性】

我が国初となる「いのしし課」を設置し、年間5000万円の事業費（駆除対策など）を計上し、イノシシ対策を行った結果、いのししパトロール（これは全額国庫補助で市費はゼロ）によるいのしし捕獲は100頭を超えるなど、21年度は、いのししの駆除頭数は減少しました。しかし、地域によっては、多くのイノシシ被害に困っておられます。

これからの4年間でも、絶えず被害対策の事業費は確保しながら、地域の皆さんのお声を聞きながら、迅速な対応に努めていきます。

いずれにしても、農業は武雄の基幹産業なので、力を入れていきます。

7 ひわたし市長になってから、市役所の皆さんの対応が明るく元気に、丁寧になりました。その一方で、まだ、私たちの意見を十分に聞いてくれない、できない理由を述べてばかりの職員も若干見受けられます。更なる進化を求めます。【東川登町在住 30代 女性】

18年4月の市長就任式では、「できない理由」よりも「できる理由」を語ってほしいと同僚職員の皆さんに語り掛けました。その結果、対面サービスについては、市民課を中心に高い評価をいただくにいたりしました。

ご指摘のように、さらに市民サービスの向上を図るため、22年度中に、担当課ではなかなか対応できない相談に応じる「市民特命課（みんなの課）（仮称）」を創設します。この課では、国県などの制度にないものに「ちょっと・チョットの気配り」をいたします。ぜひ、お気軽に相談にお越しください。

8 子どもの働く場が無くて困っています。何とかしてください。【北方町在住 50代 男性】

地元の企業が雇用を確保していただくための政策に加え、23年春から分譲を開始する北方町の工業団地（約20ヘクタール）への企業の誘致に佐賀県庁とともに、積極的に取り組んでまいります。

また、新武雄病院・看護学校、リハビリ専門学校・病院関連企業が500人程度の雇用を行います。基幹産業である農業、観光業の振興を図り、地域所得や雇用を維持、増やすような政策を行います。

9 私は80歳で妻は78歳で息子は50歳になるけれども、まだ、結婚していない。市長さんの方で縁結びはできないもののでしょうか？【武内町在住 80歳】

**男性】**

このお悩みは私もいたるところで伺いました。市内の皆さん方がご結婚いただくために、行政としても本格的に男女の仲を取り持つための、「お結び課（仮称）」を22年度中に設置します。お結び課長は、60歳以上で多数の仲を取り持つなど人生経験豊富な方を公募し、任期付採用とさせていただきます。

これが2期目のひわたし市政の3大事業の1つになります。

**10 子育て総合支援センターはとても助かっています。しかし、長女が中学生で反抗期の真っ只中ですが、センターでは対応できないとのことで、残念でした。**

**【朝日町在住 46歳 女性】**

このお声もまたいろんなところで伺いました。そこで、子育て総合支援センターに小学生、中学生の子育て相談に応じる相談員を配置し、幅広い年代の子どもたちの相談であっても対応できる支援体制を整備します。

今、確かに、小学生、中学生などの子育てに悩む保護者が増えています。これまで就学前の育児支援、子育て支援を中心に事業を行ってきた子育て総合支援センターの機能をさらに充実・拡充します。

財源は、国の緊急雇用対策助成金等を活用して、極力、市民の負担にならないように配慮いたします。

**11 子どもが小さいので、外に働きに出ることもできず、同じお母さん世代とも離れがちで、ちょっとブルーです。何とかありませんか？【北方町在住 30歳 女性】**

子育て重視、雇用確保の一方で、開かれた市役所を目指すために、子育て中のお母さんが集い、育児の悩みや子育て情報などの交換を行いう拠点、「ママズ・カフェ（仮称）」を市役所に設けます。カフェはどなたでも利用でき、軽食も提供します。22年度に、運営を行っていただく皆さんの公募をいたします。

費用は、市役所の改装等で100万円程度を見込みますが、財源としては、事業の洗い出しから捻出します。

**12 子どもが市長さんや議長さんと一緒に山内町の姉妹都市であるセバストポールに行きましたが、とても良い体験でした。英語が通じなくてがっくりと言っていました(笑)。もっとセバストポールなどが身近になればと思います。【山内町在住 37歳 男性】**

成人になる前に、外国の皆さんと交流を深めることは、人生にとって地域にとってとても大切なこと。私自身、高校生のときに韓国の高校生と武雄で交流を持ったことが、自分の一生で大きな意味を持つことになりました。

そこで、23年度に「こども国際交流課(仮称)」を設置し、子どもたちが直接海外の文化や生活習慣に触れる海外との交流事業を積極的に支援します。外国の人々と交流事業を実施してきた団体を財政や人の面から支援し事業の成果を市民の皆さんに広げ、市の国際化を推進します。

**13 武雄市の学校給食は新聞で見ると、橘小学校を含めてとても評判がいいようですが、地産地消って進んでいるのですか？【武内町在住 33歳 女性】**

学校給食の副食材料に使う地元産食材の使用率を80パーセントまでに高めます。18年度に40パーセント程度だった地元産の使用率は20年度に60パーセントを超え、年々高くなっています。この動きを着実なものとし、子どもたちの健康づくり(食育)を市としても応援します。

**14 環境の時代と言われていますが、武雄市では今後どのような取組をされるのですか？【東川登町在住 52歳 女性】**

各種団体の皆さん、まちづくり部の頑張りでいろんな成果が出ていますが、新たな政策として、

- \* 23年度から緑のボリュームアップ事業を開始します。予算は100万円とし、自然豊かな武雄を未来の子どもたちに残していくため、桜やクスの苗木を希望者に支給し、緑のまちづくりを推進することで、年間1.5トンの二酸化炭素削減を目指します。
- \* 24年度から、グリーンビル化事業を行います。予算は100万円とし、緑のカーテン事業、屋上グリーン事業など温暖化防止を取り組むビル所有者を財政面から支援します。ビルの冷房に要するエネルギーを抑え、二酸化炭素を削減します。

**15 佐賀県は男女共同参画についてはあまり進んでいないと新聞で読みましたが、武雄市ではどのように取り組むのでしょうか。【西川登町在住 42歳 女性】**

まず、男女共同参画については、行政主導というよりも、家庭や学校、地域で知らず知らず身に付けていくべきものだと思います。

男女共同参画を後押しするために、24年度の県内2市目となる男女共同参画基本条例の制定を目指し、22年度中に、男女共同参画基本条例案制定審議会を設置し、活発な議論を行っていただきます。

これと並行して、政策・方針決定の場への女性の参画を図るため、女性枠(公募制)を創設し、審議会等における女性登用率40パーセントを実現します。また、武雄市における相談窓口の体制及び環境の整備・充実を図ります。

16 武雄市には寿大学と言って老人大学があったのですが、無くなってしまい、とても残念です。学ぶ場があったら、武雄市はもっともっと良くなるのに。【武雄町在住 70歳 女性】

歳を重ねれば重ねるほど学ぶ意欲が増す、とどなたもおっしゃいます。そのような真剣なお声を受けて、22年度秋に、武雄市高齢者大学(仮称)を開講します。

中央省庁での同僚ネットワーク、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、関西大学、九州大学などのネットワーク、さらには、病院問題で多くのドクター、医学部教授の皆さんとネットワークが広がったので、そのような人的ネットワークを活かして、市内外の一流の教授(講師)陣をお迎えして講義に当たっていただきます。予算は年間60万円程度を見込んでいます。

17 森林が荒れていて、いのしし被害や鉄砲水の原因になっています。行政としてこ入れすべき時に来ているのではないのでしょうか。【朝日町在住 67歳 男性】

このまま手をこまねいていると国土崩壊にもつながる深刻な状況にあるということは、十分認識しています。そこで、国等の補助金を活用しながら、官民から成る「森林保全隊(仮称)」を組織し、特に荒れ放題となっている林道及び林道の周辺を美化・整備します。これは、雇用の確保、観光振興にもつながるような取組にもなります。予算は年間2000万円程度を見込んでいます。

18 東京大学の中川恵一先生のお話をテレビで見ましたが、市長と親しいそうですね。私の父がガンで他界し、自分のこととしてガンを考えるようになりました。行政としてはどういう取組を進めるのですか?【橘町在住 30代 男性】

中川先生はガン治療の第一人者で、マスコミにも幅広く出られている著名な方で、武雄市でも既にガンの講演を行っていただいています。ガン対策については、21年にガン撲滅推進市民大会を開催しましたが、ここでの提言を受け、まず、22年度中に「ガン対策課(仮称)」を設置します。その中で具体的なガン撲滅推進に関して市民のご意見を伺いながら具体的に進めていきます。

19 小学生の娘がフジテレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」のドラマに出演しましたが、その時に、江森浩子プロデューサーからとても親切にしてもらったと喜んでいましたが、ご本人に聞いたら、武雄市市政アドバイザーとのことでした。とても良いことだと思います。今後はどんな方を市政アドバイザーにされるのですか?【若木町在住 40代 男性】

江森浩子プロデューサー(共同テレビ)からは、度々、東京での情報発信も行っていた

だいています。引き続き、江森プロデューサーには市政アドバイザーに就任していただくことと同時に、ガン治療の第一人者の中川恵一先生を始め、市内外で全国的に活躍されている方に対して就任を要請します。

**20 2期目のひわたし市政の中心構想は何ですか？【山内町 30代 女性】**

市政は、福祉、教育から道路事業というように、360度全方向ですが、その中で、あえて、一つ申し上げれば、市内の前向きな医療関係者とも連携し、「健康・医療を中心としたまちづくり」(MEDICAL LINK TOWN<sup>メディカルリンクタウン</sup>)に着手したいと思っています。

具体的には、新武雄病院を中心として、さまざまな関連医療機関、生活関連施設、住居などが集まり、農業、観光など関連産業が集積し、それらに従事している皆さんの所得が向上するように極力リンクさせていきたいと思っています。

一地方で初めてとなるMEDICAL LINK TOWN<sup>メディカルリンクタウン</sup>となるような行政としての仕掛けをきちんと行い、市民福祉の維持向上を目指します。

**21 政権交代で中央省庁のひも付きではなくて、一括交付金の実現という話を聞きましたが、武雄市にはどのような影響があり、どのように懸案の事業を進めていくのですか？【北方町在住 60代 男性】**

一括交付金のあり方は現時点では明らかではありませんが、いずれにしても、税収を確保し、国等の補助金等を十分に活用しながら、地域主権を目指します。また、私自身、中央省庁で長く勤務したことがあり、各省庁に同じ年代の知人も多数あり、その人的ネットワークを武雄市のために最大限に活かします。

お孫さん、お子さんが働く雇用の場の確保、  
市民所得向上のために農業・商業・工業の振興、  
24時間365日安心できる地域医療の充実、  
子ども、ご高齢者、障がいをお持ちの方々の支援の充実、  
武雄市消防団等と協働して、市民の安全安心の確保、  
六角川、松浦川流域の水害解消等の防災対策、  
国道34号線、35号線、生活密着道路など交通基盤の整備、  
深刻な周辺部対策

などを、市長と語る会、出前講座などを積極的に開催し、市民の生の声を市政に反映します。皆さんと一緒に、ぬくもりのある元気な武雄市を目指して！